

高分子系張り床材試験方法

Test methods-Resilient floorcoverings

17 滑り性試験

17.1 一般事項

この箇条では、床材の滑り性試験について規定する。

17.2 測定機器

この試験に用いる測定機器は、次による。

a) 滑り試験機 図11 a) に例示するもので、次の要件を満たすものとする。

1) 17.2 b) に規定する滑り片を底面に取り付ける鋼製滑り片台座をもつ。図11 b) に、滑り片及び鋼製滑り片台座の詳細図を示す。

2) 固定した試験片上で鋼製滑り片台座に取り付けた滑り片を、次の条件で滑らす機構をもつ。

2.1) 滑り片と試験片との接触面の大きさ及び形状は、70×80 mm の長方形。

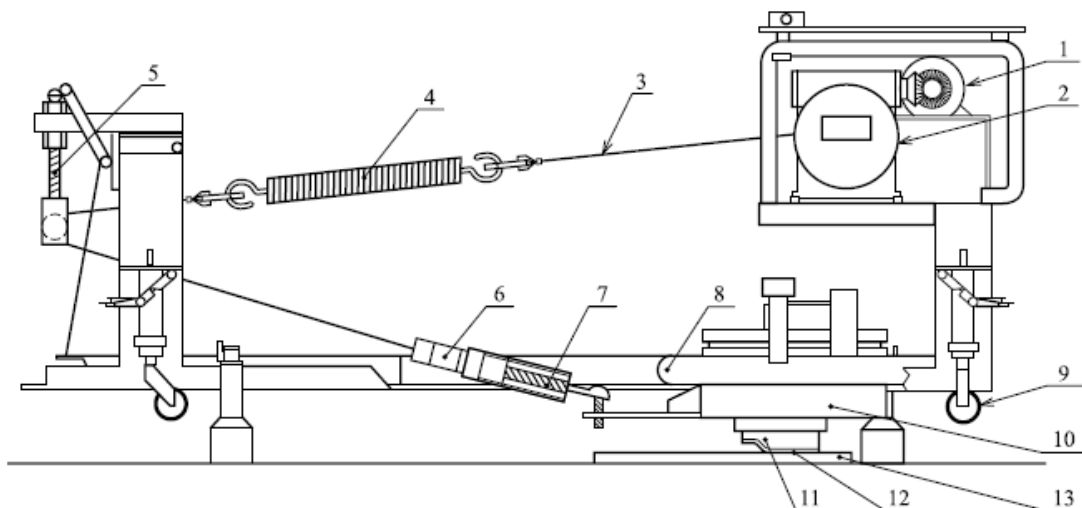
2.2) 滑り片に載荷する鉛直荷重 (P) は、785 N。

2.3) 滑り片に作用させる引張荷重の方向は、斜め上方18°。

2.4) 滑り片に作用させる引張荷重の速度は、785 N/s。

3) 滑り片に2.2)の鉛直荷重を載荷後、直ちに2.3)の方向に引っ張り始める機構をもつ。

4) 滑り片を滑らすときの引張荷重 (P) を測定する機構をもつ。



1 定速モータ

2 減速機

3 ワイヤ

4 引張荷重速度調整器

5 引張角度調整器

6 荷重変換器

7 初期荷重調整器

8 ガイドレール

9 移動用車輪

10 おもり

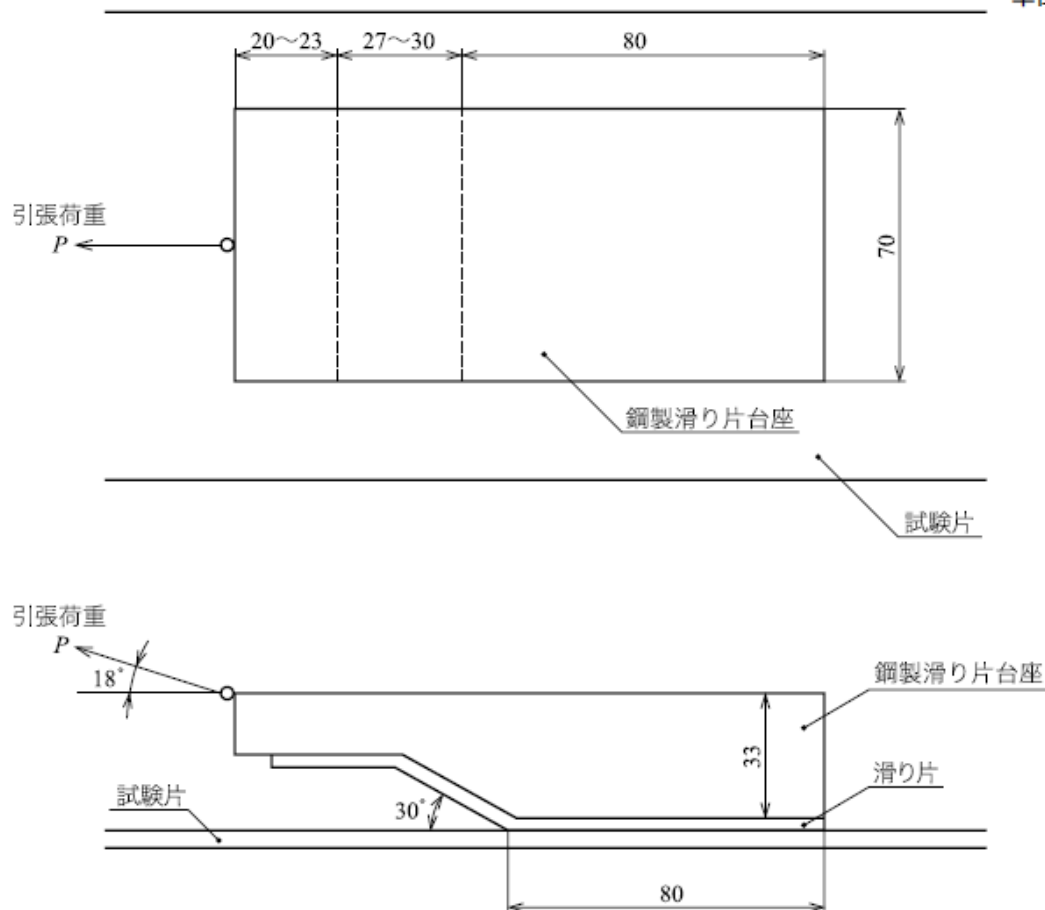
11 鋼製滑り片台座

12 滑り片

13 試験片

a) 滑り試験機 (例)

図 11-滑り試験機



b) 滑り片及び鋼製滑り片台座の詳細図

図 11－滑り試験機（続き）

b) 滑り片 滑り片の材料は、次の中から選択する。

- 1) 硬さ72～80，厚さ3～6 mm のゴムシート。
- 2) 硬さ29～35，厚さ7～10 mm のゴムシート。
- 3) その他：実際に使用している鞋底など。

なお，硬さは，JIS K 6253 に規定するデュロメータ硬さ試験（タイプA デュロメータ）による。

17.3 試験室の温度及び湿度条件

この試験は，温度 23 ± 2 ，湿度（ 50 ± 10 ）%の試験室で行う。ただし，受渡当事者間の協定による温度及び湿度がある場合は，その温度及び湿度で行う。

17.4 試験手順

試験手順は，次による。

a) **試験片表面状態の選択** 試験片の表面状態を，次の中から選択する。

- 1) **清掃・乾燥状態** 試験片表面を清潔な布でふいた状態。
- 2) **ダスト散布状態** 試験片表面にJIS Z 8901 に規定する試験用粉体1 の7 種を 10 g/m^2 の割合で散布した状態。
- 3) **水+ダスト散布状態** 水道水とJIS Z 8901 に規定する試験用粉体1 の1 種及び7 種とを質量比で，20：9：1 に混合したものを 400 g/m^2 の割合で散布した状態。

4) **油散布状態** 食用油を40 g/m²の割合で散布した状態。

5) **その他** 受渡当事者間の協定による。

b) **滑り試験の手順** 17.2 a)に規定した滑り試験機を用い, 17.4 a)で選択した表面状態の試験片上で滑り片を引っ張るときの引張荷重 (P) を測定し, 滑り片が滑り始めるときに発生する最大値を最大引張荷重 (P_{\max}) とする。

なお, エンボス加工品などで, 試験片の方向で表面の凹凸形状に明らかな差がある場合は, それぞれの方向で測定を行う。

17.5 試験結果の計算及び試験結果の表示

17.5.1 試験結果の計算

滑り抵抗係数 ($C.S.R$) は, 式(5)によって算出する。

$$C.S.R = \frac{P_{\max}}{W} \dots\dots\dots (5)$$

ここに, $C.S.R$: 滑り抵抗係数
 P_{\max} : 最大引張荷重 (N)
 W : 鉛直荷重 (N) = 785 N

17.5.2 試験結果の表示

滑り性試験の結果は, 小数点第2位に丸めて表示する。

なお, 結果には, 滑り片の種類及び試験片の表面状態を記載する。また, 試験片の方向で表面の凹凸形状に明らかな差がある場合, 試験片の方向を明記する。